マンガで見る！ 理解のある介護例

介護の仕方や、咄嗟の対応が分からず戸惑うことは多々あります。４コマ漫画で、「認知症の人の気持ちに響く」理解ある介護を見てみましょう。

よろこびスイッチ

引用：コバヤシのハードロック介護より

介護のポイント

反応が薄くなってきた方がいれば、大事にされてきた物や、昔使っていた物、好きなことに関係する物などで「よろこびスイッチ」を探してみましょう。饒舌に話されることが介護の現場ではよくあります。

※ 介護保険サービスの利用や申請などもお気軽にご相談下さい。

（はるかぜ居宅　菅田）

知っていますか？ ヘルプカード

はるかぜ介護福祉ステーション

ヘルプカードとは

内部障がいや発達障がい、難病の方など、「外見から分からなくても支援や配慮を必要としている」方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせるためのカードです。熊本市版のヘルプカードは今年８月末に配付が始まりました。

カードが必要になる場面はさまざまです。日常生活で手助けが必要になった、パニックや発作を起こした、急な体調不良などの緊急時、災害避難、避難所で過ごすとき…など。

今回はるかぜ介護福祉ステーションの利用者さんにヘルプカードを実際に利用した方がおられますのでご紹介します。

利用者Ｙさん

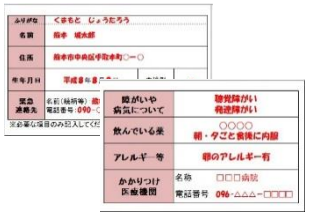
私はパーキンソン病です。

先日、書店に立ち寄ったとき急に発作がでて転倒してしまいました。その時、バッグにさげていたヘルプカードを見せたところお店の店員さんが迅速にうごいてくださり落ち着くまで休ませて貰いました。発作がでると話す事も、うまくできないので助かりました。

私が、いちばん不安に思っていることは難病を持っていることをわかってもらえないことです。ここを少しだけ手伝ってもらえると随分助かるんだけどという場面が多々あり、いつも危険と背中合わせに行動しています。

ヘルプカードを持っている方が困っていたら

ヘルプカードも持っている方を見かけたら、電車やバス内では、席をゆずるなど思いやりがある行動を。また、支援が必要な様子の時には「どうしましたか」「お手伝いしましょうか」などの声をかけ、できる範囲で配慮や支援をお願いします。



緊急時は、ヘルプカードの内側に書かれている緊急連絡先や病名などを確認し、周囲の人と協力しながら必要な支援をよろしくお願いします。

（熊本市 HP より）

ヘルプカードは熊本市障がい保健福祉課、区役所福祉課、総合出張所、熊本市障がい者相談支援センターで無料配付されています（ダウンロードして自分で印刷作成することも可能）。また熊本県のデザインにはくまモンが載っています。ヘルプに気付くきっかけ。覚えておきましょう♪